

【平成 28 年度伊豆市一般会計補正予算（第 2・3 回）】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ 3,492 万円を追加し、予算総額は 166 億 5,432 万円
おもな事業として

- 公共事業の専門知識を学ぶ為、東洋大学大学院へ職員 1 名を派遣する研修費 105 万円
- 子育て支援モバイルサービス利用料 94 万 9,000 円
- 柿木最終処分場施設改良工事費 3,552 万円
- 企業誘致推進事業（創業者支援の家賃や工事費の補助）50 万円×3 件＝150 万円
- 東京オリンピック開催を踏まえた自転車まちづくり推進事業 1,519 万 6,000 円
- レンタル自転車コンテナハウス設置工事費 239 万 2,000 円
- 中心市街地歩行者空間にかかる調査検討業務委託費 700 万円
- 津波災害ワークショップ支援業務委託料 320 万円
- 消防団退職報償金の増 1,052 万円

【伊豆市議会基本条例制定における請願・陳情の取り扱い】

※今議会より、請願・陳情の審査をするにあたり、その趣旨を十分に理解するために、請願者及び陳情者から直接発言の申し出があった場合は、意見を聞く機会を設けること、また、議会として請願者及び陳情者に対して意見を伺うために会場への出席を求められることになりました。今定例会の委員会審査では請願者他多くの方の傍聴がありました。

- 文教ガーデンシティ計画行政手続きに関する請願書・・・採択
- 修善寺駅及び周辺整備に関する請願書・・・・・・・・・・採択

6 月議会



小長谷順二通信

平成 28 年 6 月定例会の概要

Vol. 15 号

小長谷順二 後援会事務所
 伊豆市土肥 450-7
 TEL/FAX 0558(98)0400
<http://konagayajunji.web.fc2.com/>
 Email photo-ko@vcs.wbs.ne.jp

【議会報告会～みんなで語る会～開催しました】

平成 28 年 5 月 24 日（火）～5 月 27 日（金）の 4 日間連続で開催しました。

- ①平成 28 年度一般会計予算概要説明
- ②平成 28 年一般会計委員会審査報告
- ③本会議での討論
- ④（建設・防災）、（環境・観光・産業）、（教育・福祉）の 3 つのグループに分かれてワークショップを開催
- ⑤各グループで出された意見の発表

【各会場でのおもな質疑】

- ・文教ガーデンシティの財政シミュレーション（中伊豆ふれあいプラザ）
- ・湯ヶ島小学校周辺活性化、天城支所移転問題（ふらっと月ヶ瀬）
- ・バス利用料金の軽減、中学校統合による人口減の影響（土肥支所）
- ・文教ガーデンシティ用地買収費の面積と県・国との協議（生きいきプラザ）

【参加者意見】

- ・質疑の時間が 15 分では短い
- ・天城支所の内容について議会で議論していないのはおかしい
- ・公共施設の老朽化について壊すのではなく耐震強化を図り使用して欲しい
- ・議員数を 18～20 人に増やしても良いと思う
- ・FMIS だけの情報発信業務委託は心配である
- ・市民の参加が少なく、議会への関心が低いのではないかと

※各会場の詳細については、議会報告会実施報告書を作成し議会事務局等で閲覧できるように準備中です。そして伊豆市議会ホームページにも掲載させていただきます。議会報告会の課題もたくさんありましたので、議会として検証を重ね、より良い報告会の開催に取り組んでまいります。



中伊豆ふれあいプラザ（5/24）



ふらっと月ヶ瀬（5/25）



土肥支所（5/26）



生きいきプラザ（5/27）

小長谷順二の一般質問

【1.公共施設等社会インフラの再配置や今後の整備見通しについて】

質問 少子高齢化・人口減少が更に進む中、国土のグランドデザイン 2050 においては、基本的な考え方として、コンパクトプラスネットワークという方向が示されています。各機能を一定のエリアに集約化、コンパクト化することが不可欠だと言われており、「小さな拠点」という考え方も示されています。国の「まち・ひと・しごとの創生」基本戦略に沿って作成された、伊豆市グランドデザインの中の「コンパクトタウン&ネットワーク構想」について改めて市の考え方を伺いたい。

質問

(ア) 今後、廃止・統合が検討される施設や遊休地について、売却や貸出についての方向性は検討されていますか。

(イ) 国際的な観光文化環境都市を目指す伊豆市内の公衆トイレの整備について。

(ウ) 合宿誘致等を踏まえた公共施設の使用料の減免措置についての検討は考えていますか。

答弁 「伊豆市コンパクトタウン&ネットワーク計画」が平成 27 年 11 月に地域再生計画として認定されました。この認定を受け、修善寺駅周辺整備事業、文教ガーデンシティ構想事業、天城湯ヶ島インターチェンジ周辺事業の整備や、本年度策定予定の公共交通網形成計画などの施策が位置付けられたので、地方創生の新型交付金を活用し、この構想の実現に向けて事業を進めてまいります。

答弁

(ア) 現在も具体的な利活用が出来ない普通財産が有るので、今年度中に、新たな公募を行い、処分や利活用の提案を求めていきたいと考えています。

(イ) 市では現在 39 施設のトイレ管理を行っています。昨年度は 1,500 万円、今年度は 530 万円の予算を取り入れトイレの洋式化を進めており 63%が完了しました。今後も公共施設の適正化を踏まえて整備に取り組んでまいります。

(ウ) 昨年 7 月に減免廃止等の運用規定の見直しを行いました。オリンピック開催に向けて施設の有効活用や観光振興につながるように必要に応じて検討を行ってまいります。

【2.中学校再編における郷土愛の醸成について新教育長の考えを伺いたい】

質問 「第 2 次伊豆市学校再編計画」では、修善寺・天城・中伊豆の 3 つの中学校を 1 校に再編成する方針です。先日開催された議会報告会～みんなで語る会～でも、各地区に中学校が無くなると、ふるさとへの想いや関心が薄れていくのではないかと危惧されている方が多数いらっしゃいました。小学校までの「ふるさと教育」・「地域学習」で育まれた地域愛を新中学校でどのように活かし、地域への愛着心や帰属意識を高めていくのか。新教育長の考えを伺います。

答弁 地域学習や、伝統を引き継ぎ地域住民との交流と学びの場であることを目指して行きます。小中学校では、総合的な学習の時間で行うふるさと学習に取り組んでいますので、教育委員会では、ふるさと学習で扱う範囲について、小学校では旧町の「ふるさと」。中学校では、「市内全域を愛すべきふるさと」として地域の皆様にも積極的に協力をいただきながら推進して行きたいと考えており、小学校までに育んだ内容をベースにさらに全市的な視野に立ち、中学生ならではの手法で課題追求、まとめ、提言を重ね、ふるさと伊豆への愛着や誇りを持てる教育の準備を進めてまいります。

2020 年に開催される東京オリンピックには、確実に伊豆半島に人が押し寄せて来ます。このチャンスを生かす為、この 4 年間ですべき事を地域の皆さんと語り合いたいと思います。是非お出かけください。



小長谷順二

ブログ・facebook更新中！！

小長谷順二 第14回 市政報告会開催
平成28年7月14日(木) PM7時
伊豆市土肥支所 4F会議室